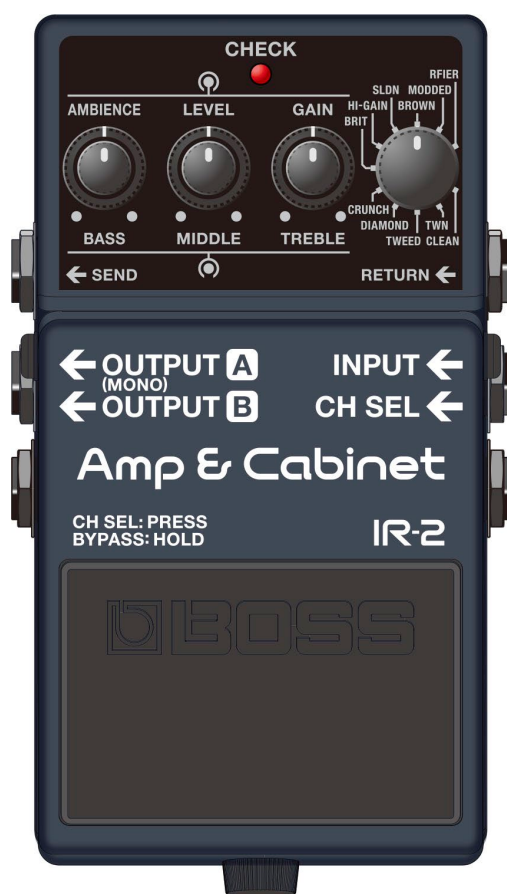




Amp & Cabinet

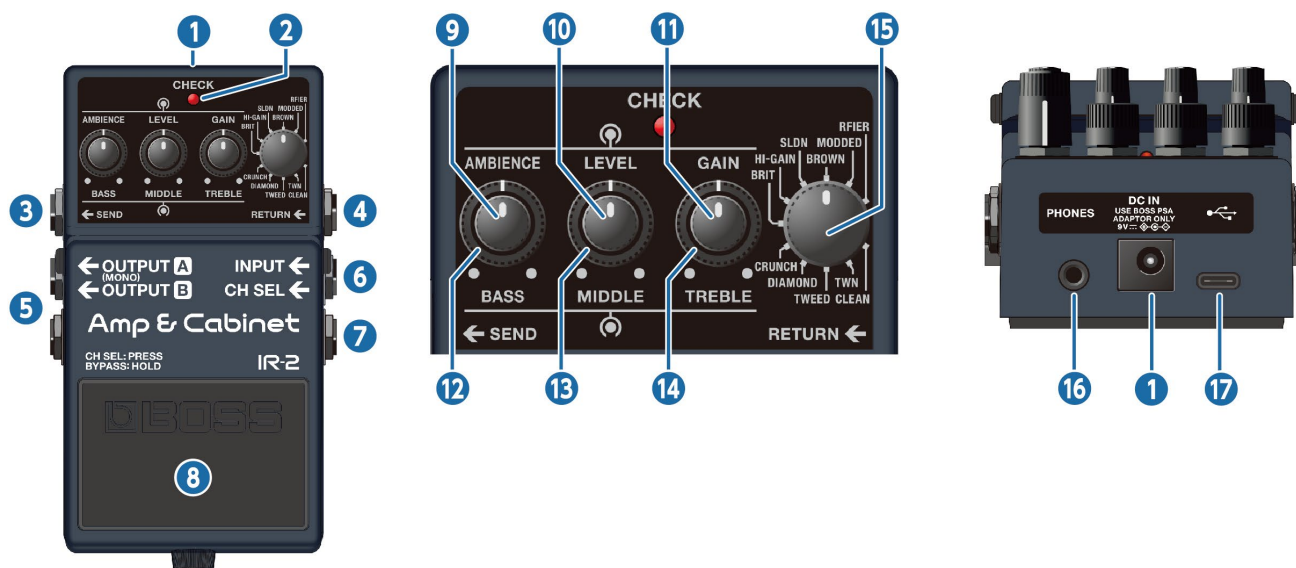
IR-2

取扱説明書

目次

各部の名称とはたらき	3
アンプ／キャビネット一覧.....	6
IR-2 の使いかた	8
接続するアンプを設定する	10
チャンネルの操作	13
チャンネルの切り替え	13
外部フットスイッチを使ったチャンネルの切り替え	14
音色のエディット／保存	15
アンプ、キャビネットをオン／オフする	17
AMBIENCE のタイプを設定する	19
RETURN に入力する信号を選ぶ.....	21
USB モードを設定する	22
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	24
電池の交換のしかた	25
主な仕様	26
使用上のご注意.....	27
知的財産権について	27

各部の名称とはたらき



名称	機能
1 DC IN 端子	AC アダプター（別売：PSA-100）を接続する端子です。 * AC アダプターは、必ず指定のもの（別売：PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。 * 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。
2 CHECK (チェック) インジケーター	エフェクト・オン／オフの表示、チャンネルの表示、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。 エフェクト・オン時、ペダル・スイッチを押すたびに、緑点灯／赤点灯が交互に切り替わります（エフェクト・オフ時は消灯します）。 * インジケーターが暗くなったり点灯しなくなったりしたときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。交換方法については、「電池の交換のしかた(P.25)」をご覧ください。
3 SEND 端子 4 RETURN 端子	外部エフェクターを接続します。SEND 端子から外部エフェクターに信号を送り、RETURN 端子で外部エフェクターからの信号を受け取ります。 * RETURN 端子を使うときは、入力する信号（モノ／ステレオ）に合わせて設定を変更する必要があります。詳しくは「RETURN に入力する信号を選ぶ(P.21)」をご覧ください。

5	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B 端子	ミキサーやギター・アンプなどに接続します。モノで使用するときには、 A (MONO) 端子のみに接続します。 * IR-2 の性能を最大限に発揮させるために、必ず接続するアンプの種類の設定をしてください。詳しくは「接続するアンプを設定する(P.10)」をご覧ください。
6	INPUT 端子	ギターやエフェクターを接続します。接続には、標準プラグ (TS) ↔ 標準プラグ (TS) の接続ケーブルを使います。 * 本機はベース用のアンプ／キャビネット IR を搭載していないため、ベースを接続しても効果的な音色変化を得られません。 電源のオン／オフについて INPUT 端子は、電源スイッチを兼ねています。INPUT 端子に接続プラグを差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。 * 電池の消耗を防ぐために、本機を使わないときは INPUT 端子に接続しているプラグを抜いてください。
7	CH SEL 端子	フットスイッチ (別売：FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、チャンネル切り替えをコントロールすることができます。 フットスイッチを接続したときは、ペダル・スイッチは BYPASS (バイパス) 機能のみになります。 * FS-6、FS-7 を接続したときは、モーメンタリー動作でのみ使用することができます。
8	ペダル・スイッチ	チャンネルを切り替えます。長押しすると BYPASS 機能に切り替わり、エフェクト・オフになります。 * 詳しくは「チャンネルの切り替え(P.13)」をご覧ください。
9	[AMBIENCE] つまみ	アンビエンスのかかり具合を調節します。
10	[LEVEL] つまみ	アンプの出力レベルを調節します。
11	[GAIN] つまみ	アンプのゲイン (歪みの量) を調節します。
12	[BASS] つまみ	アンプの低音域の音質を調節します。
13	[MIDDLE] つまみ	アンプの中音域の音質を調節します。
14	[TREBLE] つまみ	アンプの高音域の音質を調節します。
15	タイプつまみ	アンプとスピーカー・キャビネットの組み合わせを切り替えます。 詳しくは「アンプ／キャビネット一覧(P.6)」をご覧ください。
16	PHONES 端子	ヘッドホンを接続します。

17	USB 端子	パソコンなどを接続して USB オーディオ・インターフェースとして使用したり、専用の IR Loader アプリを接続してお好みの IR ファイルをロードしたりすることができます。 * USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルを使って接続してください。 * 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。 IR Loader は、ボスのホームページからダウンロードしてください。 https://www.boss.info/jp/products/ir-2/downloads/
----	--------	--

- * 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。
- * 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

USB 端子や PHONES 端子を使用する場合

USB 端子や PHONES 端子を使用する場合は、電池の消耗が早いいため、AC アダプターの使用をお勧めします。

電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

- * 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき

アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

アンプなどの電源を最初に切ってください。

アンプ／キャビネット一覧

アンプ

タイプつまみ	説明
CLEAN	アンプ固有のトレブリー感やブーミーな低音のクセを抑えた、素直なクリーン・サウンドです。
TWN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
TWEED	Fender の Bassman 4 x 10" Combo をモデリングしています。
DIAMOND	VOX の AC30 をモデリングしています。
CRUNCH	MDP (Multi-Dimensional Processing) により、すべての弦で歯切れの良さを実現したクランチ・サウンドです。
BRIT	Marshall 1959 をモデリングしています。
HI-GAIN	MDP により、レンジが広く心地よい分離感が得られるハイゲイン・サウンドです。
SLDN	Soldano SLO-100 をモデリングしています。
BROWN	エッジの効きにこだわったリード・サウンド です。
MODDED	MDP により、過激なゲインでも音の輪郭を失わないコア・サウンドです。
RFIER	MESA/Boogie DUAL Rectifier のチャンネル 2 MODERN モードをモデリングしています。

キャビネット

本機には、Celestion の IR データがプリセットされています。工場出荷時の状態で、すぐに高品質のサウンドで演奏することができます。



タイプつまみ	スピーカー	キャビネット・タイプ	マイク	IR ファイル名
CLEAN	1 x 12" Celestion V-Type	CLOSED	ROYER R-121	V-Type 112 C R-121 Balanced Celestion.wav
TWN	2 x 12" Celestion A-Type	OPEN	SENNHEISER MD421 + ROYER R-121	A-Type 212 O Lo-Gn 421+121 Celestion.wav

TWEED	4 x 10" Celestion G10 Gold	CLOSED	ROYER R-121 + SHURE SM57	G10 Gold 410 C Lo-Gn 121+57 Celestion.wav
DIAMOND	2 x 12" Celestion Blue	OPEN	SENNHEISER MD421 + ROYER R-121	Cel Blue 212 O Hi-Gn 421+121 Celestion.wav
CRUNCH	2 x 12" Celestion G12-65	OPEN	SENNHEISER MD421 + ROYER R-121	G12-65 212 O Lo-Gn 421+121 Celestion.wav
BRIT	4 x 12" Celestion G12M-Heritage	CLOSED	SENNHEISER MD421	G12M-Heritage 412 C MD421 Balanced Celestion.wav
HI-GAIN	4 x 12" Celestion G12M Creamback	CLOSED	SENNHEISER MD421	G12M Creambk 412 C MD421 Balanced Celestion.wav
SLDN	4 x 12" Celestion Vintage 30	CLOSED	SENNHEISER MD421	V30 412 C MD421 Balanced Celestion.wav
BROWN	4 x 12" Celestion G12M-Heritage	CLOSED	SENNHEISER MD421	G12M-Heritage 412 C MD421 Balanced Celestion.wav
MODDED	4 x 12" Celestion G12K-100	CLOSED	SENNHEISER MD421	G12K-100 412 C MD421 Balanced Celestion.wav
RFIER	4 x 12" Celestion Vintage 30	CLOSED	SENNHEISER MD421	V30 412 C MD421 Balanced Celestion.wav

IR-2 の使いかた

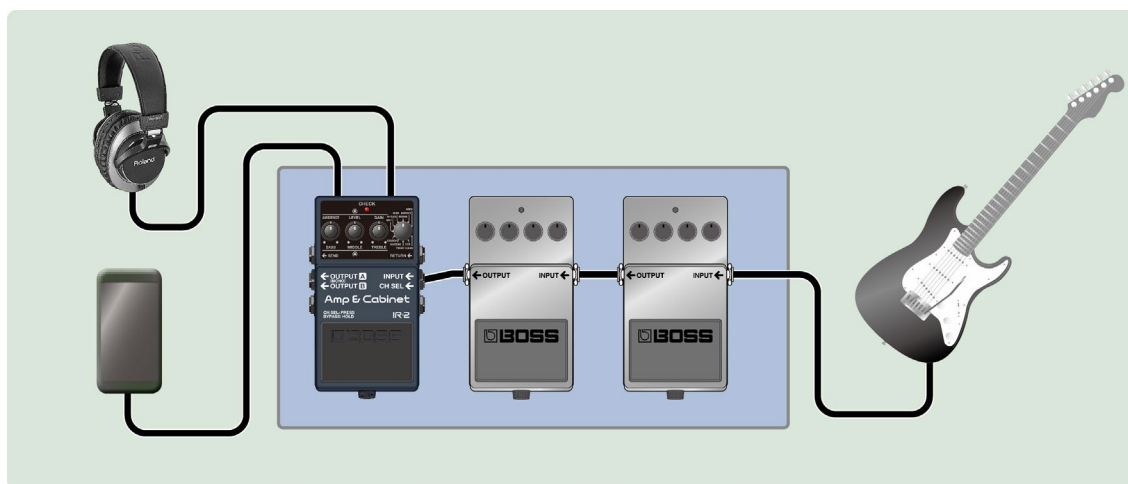
本機は高品質のプリアンプ／キャビネット IR を搭載し、練習やレコーディング、ステージなど、あらゆる環境で狙い通りのサウンドを得ることができます。

練習

PHONES 端子にヘッドホンを接続することで、ペダルボードのセッティングをそのままに、演奏をヘッドホンで聴くことができます。

USB Audio にも対応しているため、パソコンや iOS 機器を接続してバックギングを再生することもできます。

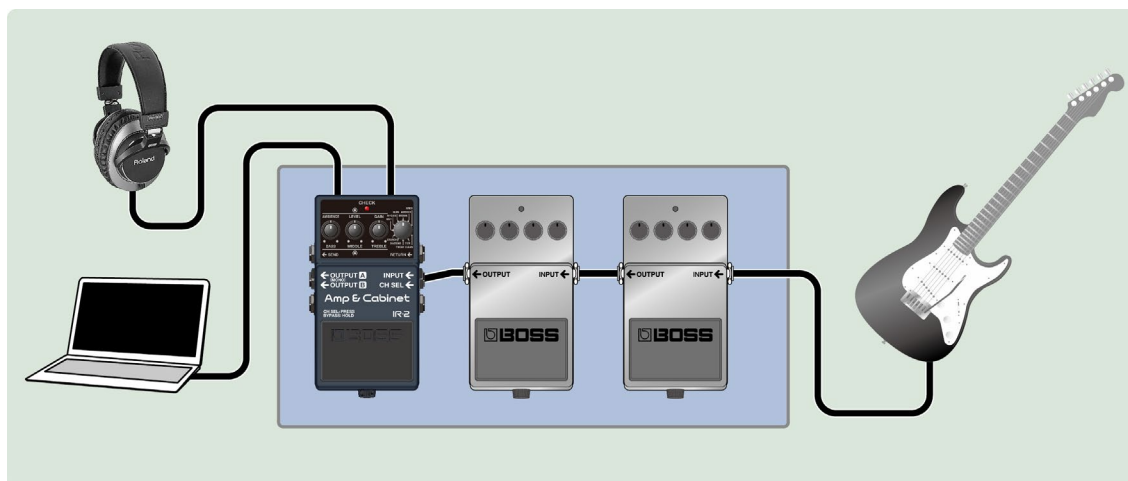
* iOS 機器の接続には、市販の Lightning - USB カメラアダプタが必要です。



レコーディング

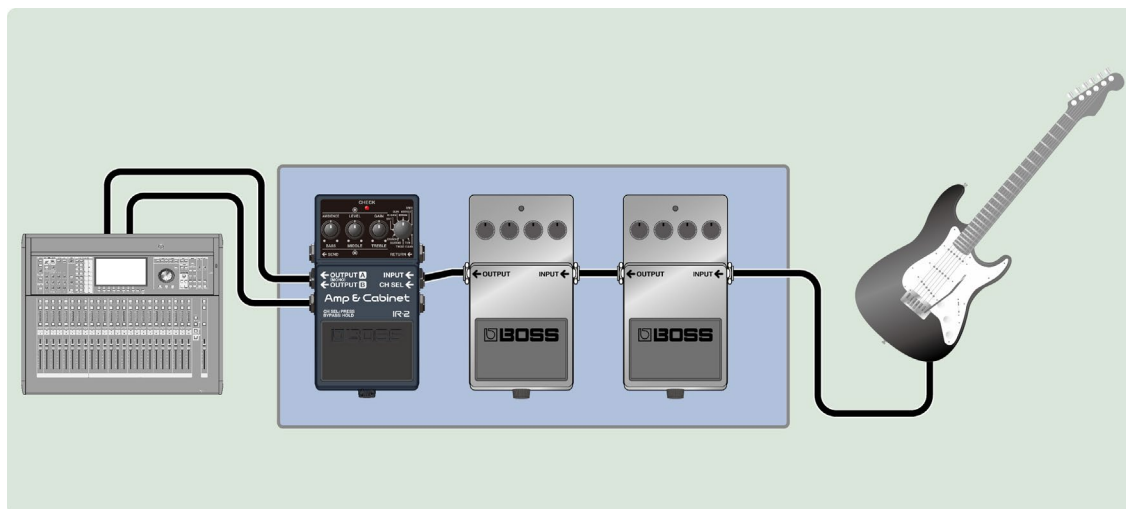
USB 端子とパソコンや iOS 機器を接続することで、ペダルボードのセッティングをそのままに、演奏を録音することができます。

* iOS 機器の接続には、市販の Lightning - USB カメラアダプタが必要です。



スタジオ／ステージ

OUTPUT A (MONO)／OUTPUT B 端子をミキサーやギター・アンプと接続することで、ペダルボードのセッティングをそのままに、演奏を楽しむことができます。



* IR-2 の性能を最大限に発揮させるために、必ず接続するアンプの種類の設定をしてください。詳しくは「[接続するアンプを設定する](#) (P.10)」をご覧ください。

接続するアンプを設定する

OUTPUT (A/MONO、B) 端子に接続するアンプの種類を設定します。アンプに合わせて音色が調整され、最適なサウンドを実現します。

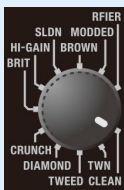
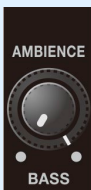
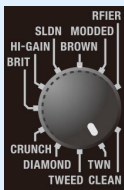
1. 電源を切ります (INPUT 端子からプラグを抜きます)。
2. タイプつまみを「TWEED」に合わせます。
3. [AMBIENCE] [LEVEL] [GAIN] つまみは左に、[BASS] [MIDDLE] [TREBLE] つまみは右に回し切ります。

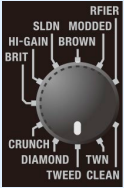
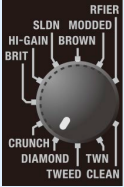
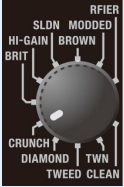
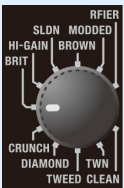
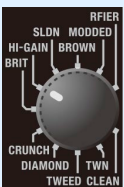
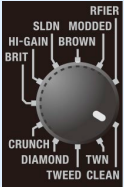
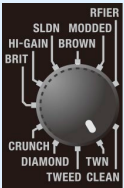


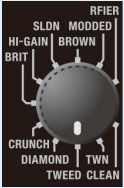
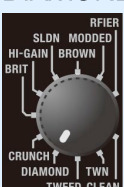
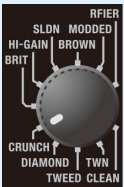
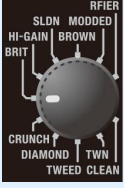
4. ペダル・スイッチを押しながら電源を入れます (INPUT 端子にプラグを差し込みます)。

CHECK インジケーターが緑点灯したあと、オレンジ点滅 3 回 → 点灯を繰り返します。

5. タイプつまみと [AMBIENCE] つまみで、接続するアンプの種類を設定します。

タイプつまみ	[AMBIENCE] つまみ	説明
CLEAN 	左に回し切る 	LINE : IR-2 を PC オーディオ・インターフェース、キーボード用アンプ、ミキサー、デジタル・レコーダーなどに接続する場合の設定です。 * 工場出荷時は、この設定になっています。
TWN 	左に回し切る 	JC-120 RETURN : ローランドのギター・アンプ、JC-120 の RETURN に接続する場合の設定です。

TWEED 	左に回し切る 	JC-120 INPUT : JC-120 のギター用入力に接続する場合の設定です。
DIAMOND 	左に回し切る 	KATANA-100 RETURN : ボスのギター・アンプ、 KATANA-100 の RETURN に接続する場合の設定です。
CRUNCH 	左に回し切る 	KATANA-100 INPUT : KATANA-100 の INPUT に接続する場合の設定です。
BRIT 	左に回し切る 	NEXTONE Artist RETURN : ボスのギター・アンプ、 NEXTONE Artist の RETURN に接続する場合の設定です。 POWER AMP SELECT スイッチが EL34 のときの特性に合わせて、音色が調整されます。
HI-GAIN 	左に回し切る 	NEXTONE Artist INPUT : NEXTONE Artist の INPUT に接続する場合の設定です。 POWER AMP SELECT スイッチが EL34 のときの特性に合わせて、音色が調整されます。
CLEAN 	右に回し切る 	TUBE COMBO 112 RETURN : 12"スピーカーを1基搭載した真空管コンボ・アンプ（アンプ／スピーカー一体型）の RETURN に接続する場合の設定です。
TWN 	右に回し切る 	TUBE COMBO 112 INPUT : 12"スピーカーを1基搭載した真空管コンボ・アンプ（アンプ／スピーカー一体型）の INPUT に接続する場合の設定です。

TWEED 	右に回し切る 	TUBE COMBO 212 RETURN : 12"スピーカーを 2 基搭載した真空管コンボ・アンプ（アンプ／スピーカー一体型）の RETURN に接続する場合の設定です。
DIAMOND 	右に回し切る 	TUBE COMBO 212 INPUT : 12"スピーカーを 2 基搭載した真空管コンボ・アンプ（アンプ／スピーカー一体型）の INPUT に接続する場合の設定です。
CRUNCH 	右に回し切る 	TUBE STACK 412 RETURN : 真空管スタック・アンプ（アンプ／スピーカー分離型）のギター・アンプの RETURN に接続する場合の設定です。 接続されるスピーカー・キャビネットは、12"スピーカーを 4 基搭載したものを想定しています。
BRIT 	右に回し切る 	TUBE STACK 412 INPUT : 真空管スタック・アンプ（アンプ／スピーカー分離型）のギター・アンプの INPUT に接続する場合の設定です。 接続されるスピーカー・キャビネットは、12"スピーカーを 4 基搭載したものを想定しています。

* OUTPUT A (MONO) と OUTPUT B を別々の設定にすることはできません。

* PHONES 接続時は、タイプつまみと [AMBIENCE] つまみの設定にかかわらず LINE 設定になります。

* ステージで PA システムに接続する場合は、モニター・スピーカーやイヤー・モニターで音を確認してください。

6. ペダル・スイッチを押します。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅し、設定が保存されます。

2～3 秒ほどで、演奏ができる状態に復帰します。

チャンネルの操作

本機では、2つのチャンネル（GREEN チャンネル、RED チャンネル）を使うことができます。

各チャンネルには、つまみを操作してエディットした音色を保存させることができます。

実際のアンプ・ヘッドのチャンネル機能のように、あらかじめ異なる音色を設定しておき、演奏シーンに応じて切り替えるような使いかたができます。

* すべてのつまみの設定が保存されます。

チャンネルの切り替え

1. ペダル・スイッチを押して、GREEN チャンネルまたは RED チャンネルを選びます。

ペダルを押すたびに、チャンネルが切り替わります。

CHECK インジケーターが緑点灯で GREEN チャンネル、赤点灯で RED チャンネルになります。



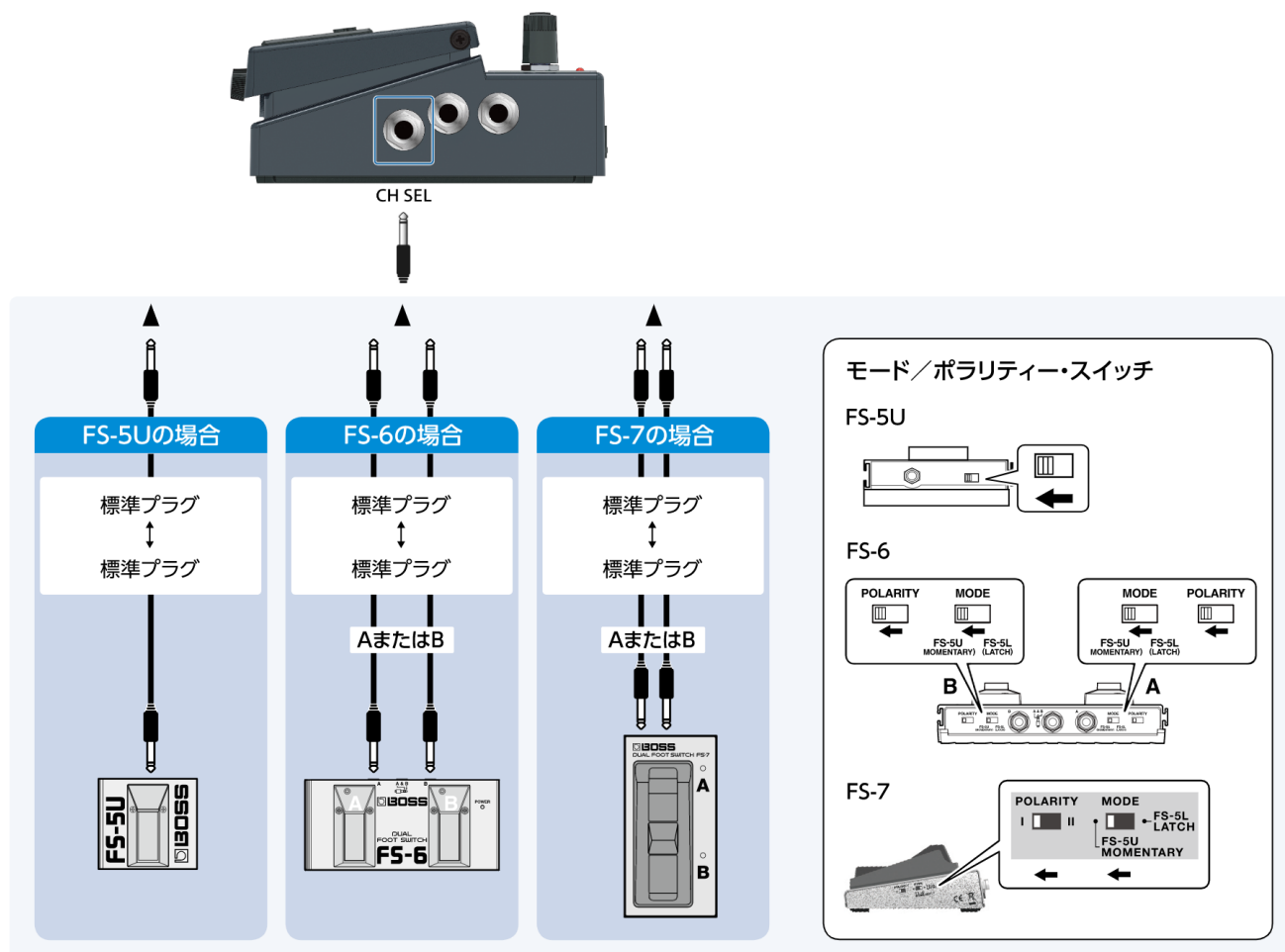
* チャンネルが切り替わると、選んだチャンネルの音色が呼び出されるため、現在のつまみ位置と音色が一致しないことがあります。

外部フットスイッチを使ったチャンネルの切り替え

CH SEL 端子に接続したフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を使って、チャンネルを切り替えることができます。

メモ

フットスイッチを接続したときは、本機のペダル・スイッチは BYPASS（バイパス）機能のみになります。



* FS-6 や FS-7 の A&B（端子）をステレオ・ケーブルで接続したときは、ペダル・スイッチ B が動作します。

音色のエディット／保存

各つまみを操作すると、エディットした設定が即座に音色に反映されます。

つまみの操作により、各チャンネルに保存されている音色がエディットされたときは、自動で現在選ばれているチャンネルに音色が保存されます。

注意

エディット後、すぐにチャンネルを切り替えたり電源をオフにしたりすると、設定が保存されません。

確実に設定を保存するため、チャンネル切り替えや電源をオフにする前に 2 秒程度の時間を空けてください。

エディット／保存の操作例

1. GREEN チャンネルでタイプつまみを「BRIT」に合わせ、各つまみで音色を調節。



自動で、GREEN チャンネルに音色が保存されます。

2. ペダル・スイッチを押して、RED チャンネルを選択。

RED チャンネルの音色が呼び出されます。

3. タイプつまみを「BROWN」に合わせ、各つまみで音色を調節。



自動で、RED チャンネルに音色が保存されます。

4. ペダル・スイッチを押して、GREEN チャンネルを選択。



手順 1 で設定した「BRIT」の音色が呼び出されます。

- * チャンネルが切り替わると、選んだチャンネルの音色が呼び出されるため、現在のつまみ位置と音色が一致しないことがあります。

アンプ、キャビネットをオン/オフする

アンプのみをオンにしたり、キャビネットのみをオンにしたりすることができます。

1. 電源を切ります（INPUT 端子からプラグを抜きます）。
2. タイプつまみを「CLEAN」に合わせます。
3. [AMBIENCE] [LEVEL] [GAIN] つまみは左に、[BASS] [MIDDLE] [TREBLE] つまみは右に回し切ります。



4. ペダル・スイッチを押しながら電源を入れます（INPUT 端子にプラグを差し込みます）。

CHECK インジケーターが緑点灯したあと、オレンジ点滅 1 回 → 点灯を繰り返します。

5. タイプつまみで、設定を選びます。

タイプつまみ	説明
CLEAN	AMP ON/CAB ON : アンプとキャビネット、どちらもオンになります。 * 工場出荷時は、この設定になっています。
TWN	AMP ON/CAB OFF : アンプのみオンになります。 外部のキャビネット・シミュレーターなどを使うときに選びます。
TWEED	AMP OFF/CAB ON : キャビネットのみオンになります。 IR Loader 単体として使うときに選びます。

6. ペダル・スイッチを押します。

設定が保存されます。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる状態に復帰します。

AMBIENCE のタイプを設定する

AMBIENCE のタイプを、好みの設定に変更することができます。

1. 電源を切ります（INPUT 端子からプラグを抜きます）。
2. タイプつまみを「TWN」に合わせます。
3. [AMBIENCE] [LEVEL] [GAIN] つまみは左に、[BASS] [MIDDLE] [TREBLE] つまみは右に回し切ります。



4. ペダル・スイッチを押しながら電源を入れます（INPUT 端子にプラグを差し込みます）。

CHECK インジケーターが緑点灯したあと、オレンジ点滅 2 回 → 点灯を繰り返します。

5. タイプつまみで、AMBIENCE のタイプを選びます。

タイプつまみ	説明
CLEAN	ROOM : 室内での残響音をシミュレーションしています。暖かみのある残響音 that 得られます。 * 工場出荷時は、この設定になっています。
TWN	HALL : コンサート・ホールでの残響音をシミュレートしています。落ち着いたマイルドな残響音 that 得られます。
TWEED	PLATE : プレート・リバーブ（金属板の振動を利用したリバーブ・ユニット）をシミュレートしています。高域が伸びた金属的な響き that 得られます。

6. ペダル・スイッチを押します。

設定が保存されます。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる状態に復帰します。

RETURN に入力する信号を選ぶ

本機の RETURN 端子は、ステレオ（TRS）に対応しています。

RETURN 端子を使うときは、入力する信号（モノ／ステレオ）に合わせて設定を変更します。

1. 電源を切ります（INPUT 端子からプラグを抜きます）。
2. タイプつまみを「DIAMOND」に合わせます。
3. [AMBIENCE] [LEVEL] [GAIN] つまみは左に、[BASS] [MIDDLE] [TREBLE] つまみは右に回し切ります



4. ペダル・スイッチを押しながら電源を入れます（INPUT 端子にプラグを差し込みます）。

CHECK インジケーターが緑点灯したあと、オレンジ点滅 4 回 → 点灯を繰り返します。

5. タイプつまみで、RETURN に入力する信号を選びます。

タイプつまみ	説明
CLEAN	MONO： モノ（TS）プラグを接続して、モノ信号を入力するときに選びます。 * 工場出荷時は、この設定になっています。
TWN	STEREO： ステレオ（TRS）プラグを接続して、ステレオ信号を入力するときに選びます。

6. ペダル・スイッチを押します。

設定が保存されます。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる状態に復帰します。

USB モードを設定する

USB AUDIO を使用する場合、本機が正しく動作するように、接続する機器に合わせた USB モードを設定します。

1. 電源を切ります（INPUT 端子からプラグを抜きます）。
2. タイプつまみを「CRUNCH」に合わせます。
3. [AMBIENCE] [LEVEL] [GAIN] つまみは左に、[BASS] [MIDDLE] [TREBLE] つまみは右に回し切ります。



4. ペダル・スイッチを押しながら電源を入れます（INPUT 端子にプラグを差し込みます）。

CHECK インジケーターが緑点灯したあと、オレンジ点滅 5 回 → 点灯を繰り返します。

5. タイプつまみで、USB モードを設定します。

タイプつまみ	説明
CLEAN	GENERIC : 各 OS の標準ドライバーで動作します。 iOS に接続する場合は、この設定にしてください。 * iOS 機器の接続には、市販の Lightning - USB カメラアダプタが必要です。
TWN	VENDOR : 専用ドライバーで動作します。 Windows や macOS に接続する場合は、この設定にしてください。 ローランドのホームページからダウンロードした IR-2 ドライバーをインストールしてください。 * 工場出荷時は、この設定になっています。

6. ペダル・スイッチを押します。

設定が保存されます。

CHECK インジケーターが高速で赤点滅します。

2～3 秒ほどで、演奏ができる状態に復帰します。

注意

USB 端子に USB ケーブルを挿していると設定が反映されません。USB ケーブルを挿し直すと、設定が反映されます。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

IR-2 の設定を、工場出荷時の状態に戻します。

1. 電源を切ります (INPUT 端子からプラグを抜きます)。
2. タイプつまみを「BROWN」に合わせます。
3. タイプつまみ以外は、すべて左に回し切ります。



4. ペダル・スイッチを押しながら電源を入れます (INPUT 端子にプラグを差し込みます)。

CHECK インジケーターが緑点灯したあと、オレンジ点滅に変わります。

5. ペダル・スイッチを押します。

CHECK インジケーターが高速でオレンジ点滅します。

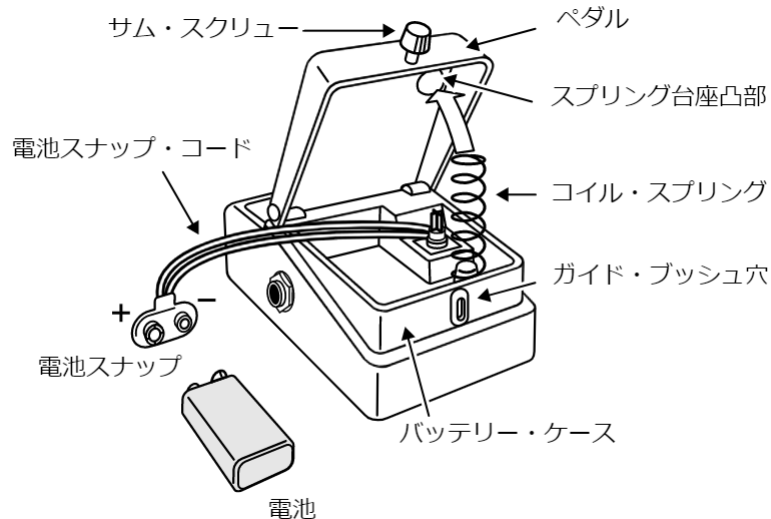
CHECK インジケーターがオレンジ点灯に変わったら、IR-2 が工場出荷時の設定に戻ります。

6. 電源を切ります (INPUT 端子からプラグを抜きます)。

電池の交換のしかた

電池駆動のときは、電池が消耗してくると CHECK インジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。

* 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。



1. ペダルを押さえながらサム・スクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。

サム・スクリューを完全に取りはずさなくても、ペダルが開けられます。

2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。

3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

電池の極性（+／-）を間違えないようにご注意ください。

4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。

ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

5. サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴に入れ、確実に締めてください。

電池について

- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシ）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- この機器には、工場出荷時に電池がセットされています。この電池は検査用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池の消耗が著しいと音が歪みやすくなる場合がありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、別売の AC アダプターを使用してください。
- USB 端子や PHONES 端子を使用する場合は、電池の消耗が早いいため、AC アダプターの使用をお勧めします。

主な仕様

規定入力レベル	INPUT	-20dBu
	RETURN	-20dBu
最大入力レベル	INPUT	+7dBu
	RETURN	+7dBu
入力インピーダンス	INPUT	1M Ω
	RETURN	1M Ω
規定出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B	-20dBu
	SEND	-20dBu
	PHONES	-20dBu
最大出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B	+7dBu
	SEND	+7dBu
	PHONES	+7dBu
出力インピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B	1k Ω
	SEND	1k Ω
	PHONES	44 Ω
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B	10k Ω 以上
	SEND	10k Ω 以上
	PHONES	44 Ω 以上
バイパス	バッファード・バイパス	
インジケータ	CHECK インジケータ (チャンネル、バッテリー・チェック兼用)	
接続端子	INPUT 端子	標準タイプ
	OUTPUT A (MONO) 、 OUTPUT B 端子	標準タイプ
	SEND 端子	標準タイプ
	RETURN 端子	TRS 標準タイプ
	PHONES 端子	ステレオ・ミニ・タイプ
	CH SEL 端子	標準タイプ
	USB 端子	USB Type-C®
	DC IN 端子	
電源	アルカリ電池 (9V 形 6LR61、6LF22)	
	AC アダプター (別売)	
消費電流	160mA	
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池：約 3.5 時間 (6LR61) * 使用状況によって異なります。	
外形寸法	73 (幅) ×129 (奥行) ×59 (高さ) mm	

質量（乾電池を含む）	450g
付属品	チラシ（安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口） アルカリ電池（9V 形、本体に接続済み） 保証書
別売品	AC アダプター：PSA-100 フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7

* 0dBu=0.775Vrms

* 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

使用上のご注意

- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

知的財産権について

- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright © 2009-2020 ARM Limited. All rights reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

IR-2

取扱説明書

03

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1

©2023 Roland Corporation